

まずはわざと気を引いて虜にしたアントニーを  
翻弄するクレオパトラの嵐のような情熱から



逃げる安珍を蛇となって  
追いかけて焼き殺す清姫へ

夫の寿命を  
縮める丙午  
放火の罪人  
[八百屋お七]

座布団は「恋  
娘昔八丈」入  
婿殺人未遂  
[白子屋お熊]

さてお七もお熊も鈴ヶ森で処刑されるが  
藤尾は大森から返してやろう

父に従って愛を失い死へ赴いたオフィーリア  
父に背いて愛を得られず死を迎えた藤尾  
戸籍が出来た申年に生まれた糸子のように自立した  
心で真実の愛を掴めればよかった



炎の美女の片輪車は  
「我を見るより  
我が子を見ろ」という  
藤尾に掛けた  
友禅の片輪車は  
水の流れにたゆとう

『虞美人草』  
原作・脚本  
演出・構成  
夏目漱石  
コメント  
[凝りすぎて  
肩が凝った]